



## リポジトリのグッドプラクティスのための COAR コミュニティフ レームワーク

第1版 – 2020年10月8日

Translation of: Confederation of Open Access Repositories. (2020, October 8). COAR  
Community Framework for Best Practices in Repositories. (Version 1). Zenodo.  
<http://doi.org/10.5281/zenodo.4110829>

### 翻訳者

南山泰之 (MINAMIYAMA Yasuyuki), JPCOAR, 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター  
尾城孝一 (OJIRO Koichi), JPCOAR, 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター  
安原通代 (YASUHARA Michiyo), JPCOAR, 国立情報学研究所 学術基盤推進部図書館連携・協力室  
菅原 光 (SUGAWARA Koh), JPCOAR, 一橋大学学術・図書部学術情報課



<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>

この翻訳は、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

COAR による翻訳の確認は行われていません。翻訳に疑義がある場合は原文を参照してください。

## 目的

本フレームワークの目的は、適用可能、かつ達成可能なグッドプラクティスに基づいて、リポジトリの現在の運用を評価し、改善を支援することである。

現在、リポジトリ運営における特定の側面（発見、アクセス、再利用、完全性、品質保証、保存、プライバシー、持続可能性など）を評価するために開発された既存のフレームワークや評価基準が多数存在する。しかし、これらの基準は異なる組織に散在しており、一つの地域や一つのタイプのリポジトリにしか当てはまらないことが多い。

この作業の目的は、様々なタイプのリポジトリ（出版、機関、データなど）が採用し、**様々な地理的・テーマ的文脈で利用できるベストプラクティスを評価する**ための、グローバルで多次の元的なフレームワークに関連する基準を集約することにある。

## プロセス

COAR ワーキンググループは、既存のフレームワークをレビューし、ギャップを特定し、その重要性、妥当性、実施可能性のレベルを評価し、各特性を「必須」または「望ましい」に分類した。

このフレームワークは、2020年6月～8月にCOARメンバーに配布され、以下の課題に関連したコミュニティからの更なるフィードバックを得ることができた。

- 採用のしやすさ - 本質的な特性の中に、実施が困難なものはないか？
- ギャップ - 重要な基準が欠けていないか？
- 明確性 - 解釈が難しいものはないか？
- 妥当性 - 不適切なものはないか？

今後数ヶ月の間に、COAR はコミュニティがこれらのベストプラクティスを採用する際に役立つ事例やガイド、インストラクションへのリンクや引用を提供していく予定である。

COAR リポジトリ評価作業部会は、毎年7月から8月にかけてフレームワークを見直し、最新のベストプラクティスを反映し、多様で国際的なリポジトリコミュニティにとって適切なものであることを確認していく。

## 他の評価ツールやフレームワークとの関係

今回の作業では、次のようなフレームワークを考慮した：[Data Citation Roadmap for scholarly data repositories](#), [Core Trust Seal](#), [FAIR data principles](#), [PLOS “Criteria that Matter”](#), [TRUST Principles for Digital Repositories](#), [COAR Next Generation Repositories Technologies](#), [Plan S](#)

## 定義

**コンテンツリソース:** リポジトリに寄託/アップロードされた対象またはアイテムを指す（例：原稿、データセット、ビデオ）。

**メタデータレコード:** 与えられたリソースのメタデータ要素のコレクションを指す。

**ランディングページ:** リポジトリ内の特定のコンテンツリソースを表すリポジトリページを指す。

目的	必須の特性	望ましい特性
<p>発見可能性</p>	<p>1.1 リポジトリは、高品質なメタデータと統制語彙（分野ベース、地域ベース、または一般的な（例：ダブリンコア）メタデータスキーマ）をサポートする</p> <p>1.2 リポジトリは、OAI-PMH を用いたメタデータのハーベスティングをサポートする</p> <p>1.3 リポジトリ内のメタデータは、リソースが利用できなくなった場合でも利用可能である</p> <p>1.4 リポジトリは、リソースが利用できない場合でも、リソースのランディングページを指す永続的な識別子(PID)を割り当てる</p> <p>1.5 リポジトリは、検索機能を提供しているか、メタデータが外部のディスカバリーサービスやアグリゲータによってインデックスされている</p> <p>1.6 リポジトリは、1つ以上の分野別または一般的なリソースのレジストリ（re3data, OpenDOAR, またはその他の国、地域、ドメインのレジストリ）に含まれている</p>	<p>1.7 リポジトリは、論文、データ、ソフトウェアなどの関連リソース間のリンクをサポートする（例えば、他の場所にある関連リソースのPIDを含む）</p> <p>1.8 リポジトリは、HTTP リンクヘッダをサポートし、アイテムに関連付けられたメタデータレコードやコンテンツリソースの自動的な発見を提供する。COAR は、これをサポートするために Signposting タイプのリンクを推奨する</p> <p>1.9 リポジトリは、著者、資金提供者、資金提供プログラム及び助成金、機関、その他の関連団体に付与されたPIDをサポートする</p> <p>1.10 リポジトリ内のメタデータは、クリエイティブ・コモンズ・パブリック・ドメイン・ライセンスの下で利用可能であり、標準的な書誌形式でダウンロード可能である</p> <p>1.11 リポジトリのメタデータは、人間が読める形式及び機械が読める形式で利用できる</p> <p>1.12 データの場合、リポジトリは必要に応じて複数の粒度のデータに対するPIDをサポートする（例えば、全データセットのサブセットを用いた研究がある場合には、データサブセットの引用が必要となる）</p>
<p>アクセス</p>	<p>2.1 ユーザーがリポジトリ内のリソースにアクセスするためのコストは発生しない</p> <p>2.2 リポジトリは、公示された期間におけるリソースへの継続的なアクセスを保証する</p> <p>2.3 リポジトリは、障害者のために、文書やメタデータへのアクセスをサポートする</p> <p>2.4 デバイスの中立性 - ユーザーがリポジトリにアクセスするために特定のデバイスを必要としない</p>	<p>2.5 リポジトリは、非常に大きなファイルを扱うためのメカニズムを、通常のユーザーインターフェース以外にも提供する（ファイルのサイズがユーザーにとって扱いにくい場合）</p> <p>2.6 あるリソースへのアクセスが制限されている場合、リポジトリはそのリソースへの間接的なアクセスを手助けする（例：著者に連絡する手段を提供するなど）</p>

<p><b>再利用</b></p>	<p>3.1 リポジトリは、再利用条件を規定するライセンス情報をメタデータレコードに含む</p> <p>3.2 リポジトリは、引用可能な PID<sup>1</sup>を提供する（1.4 参照）</p> <p>3.3 リポジトリは、推奨される、独自仕様でないフォーマットのリストを提供する</p> <p>3.4 ランディングページには、引用に必要な情報を含むアイテムに関するメタデータが機械及び人間が読める形式で掲載される</p>	<p>3.5 リポジトリは、フルテキストハーベスティングやテキストマイニング・データマイニングをサポートするためのオープンな API を持つ</p> <p>3.6 リソースは、機械可読なコミュニティ標準フォーマットで保存される</p>
<p><b>完全性と真正性</b></p>	<p>4.1 リポジトリは、リソースへの不正なアクセスやリソースの不正な操作を防ぐための実践方法を概説した文書を提供するか、またはそれに関するポリシーを持つ</p> <p>4.2 リポジトリは、リポジトリ内のメタデータとリソースのすべての変更の記録を保持する</p> <p>4.3 リポジトリは、寄託後のメタデータとリソースのバージョン管理をサポートする</p>	<p>4.4 リポジトリは、メタデータとしてコンテンツ提供者に関する情報（リソースに責任を持つ者や機関の名前を含む）を提供する</p>
<p><b>品質保証</b></p>	<p>5.1 リポジトリはメタデータ（及び該当する場合はリソース）の基本的なキュレーションを行う<sup>2</sup></p> <p>5.2 リポジトリは、どのようなキュレーションプロセスがリソースとメタデータに適用されているかを概説した文書またはポリシーを提供する</p>	<p>5.3 リポジトリは、リソースとメタデータの外部注釈、コメント、レビューをサポートする</p>

<sup>1</sup> 引用可能な PID は、そのレコードに特化したランディングページにたどり着く URL として表現された永続的な識別子を含み、そのランディングページはデータセットを記述する機械可読なメタデータを含まなければならない。COAR はこれをサポートするために [Signposting](#) プロトコルの使用を推奨する。

<sup>2</sup> CORE の承認シールで定義されているように、基本的なレベルのキュレーションには、簡単なチェックと、必要に応じて基本的なメタデータまたは文書の追加が含まれる。

<p>センシティブデータのプライバシー (例：被験者情報など)</p>	<p>6.1 リポジトリがセンシティブデータを収集している場合には、データ所有者が許可されたユーザーのみにアクセスを制限できる仕組みを提供する</p>	<p>6.2 リポジトリがセンシティブデータを収集している場合、リポジトリはデータのセキュリティ要件のレベルの違いに基づいて段階的なアクセスを提供する</p>
<p>保存</p>	<p>7.1 リポジトリ（またはリポジトリを管理する組織）は、リポジトリの管理と資金調達のための長期計画を持つ</p> <p>7.2 リポジトリは、リソースが長期的に管理される期間を定義した文書を提供するか、またはそれに関する方針を持ち、かつ保存の実践に関する文書を提供する</p>	<p>7.3 リポジトリは、広く受け入れられている保存方法を採用した、文書化された保存アプローチを有する</p> <p>7.4 寄託者とリポジトリ間の合意文書は、保存責任を果たすために必要なすべての行為、例えばアイテムを複製、変換、保存する権利などを規定する</p>
<p>持続可能性とガバナンス</p>	<p>8.1 リポジトリは、どの組織がリポジトリの管理責任を持つかを明確に示す</p> <p>8.2 リポジトリは、サービス（またはリポジトリを管理する組織）のガバナンスの性質を明確に示す</p>	
<p>その他</p>	<p>9.1 リポジトリには、寄託者や利用者を支援するための窓口又はヘルプデスクがある</p> <p>9.2 リポジトリは、一定の期間内（14 日以内）に質問に回答する旨のお知らせを出す</p> <p>9.3 リポジトリは、受け入れが可能なコンテンツの範囲を概説した文書を提供するか、またはそれに関するポリシーを持つ</p> <p>9.4 リポジトリは、標準的な方法論（例：閲覧数、ダウンロード数）を用いて利用統計を収集し、共有する</p>	<p>9.5 リポジトリは、十分にサポートされたオペレーティングシステムとその他のコアな基盤ソフトウェア上で機能する</p> <p>9.6 投稿/寄託システムは、レコードとリソースについて、作成者による個別のアップロードと一括アップロードの両方をサポートする</p>